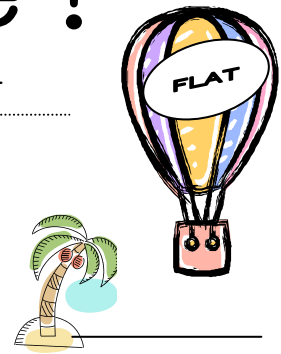


# ふらっと.come!

平成 22 年 5 月 1 日 第 14 号

発行者 船橋福祉相談協議会 「ふらっと船橋」  
〒273-0011 船橋市湊町 2-1-5 MIIビル 101R  
TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776  
HP <http://www1.ocn.ne.jp/~flatcome/>  
Email flat-funabashi@key.ocn.ne.jp



## 「さようなら」と「こんにちは」

【船橋福祉相談協議会 会長 宮代 隆治】

春は別れと出会いの季節です。“ふらっと船橋”も「さようなら」と「こんにちは」の交差する中に新しい年度を迎えました。

丸山さんは 3 年間勤めて下さいました。殆ど障害福祉の世界に馴染みのない経歴で大丈夫かな…、の思いもありましたが、持ち前のセンスで乾いたスポンジに水を吸収するように、見る見る職務に慣れて下さいました。ご苦労様でした。

そして、新しくお二人の方をお迎えすることになりました。船橋市の配慮により、特に増加する発達障害に関する相談等に対処するために、臨床心理に長けた人材を求めると、欠員となった分を補充のための採用です。新田さんと正木さんのお二人です。こうして、人材を揃えることにより、初めて“ふらっと船橋”の機能が発揮されます。

清水所長以下新しいメンバーも加わり、以前にも増した職責を果たしていくことが求められますし、それに誠実に応えていかなければなりません。

「さようなら」と「こんにちは」では、自身の今後の処し方に関しても考えさせられます。私事で恐縮ですが、知的に障害のある方とのかかわりを生業に 37 年が過ぎました。一昔前なら引退の時期と覚えます。この間培った経験は貴重なものでしょうし、それを有効に還元していくことも使命かな、と思っています。

但、若い頃のがむしゃらなバイタリティや判断と実行の早さは、とても無理のようです。心身ともに充実していなければ、障壁に挑むことも心底疲れます。少なくとも、今後後輩そして若い人たちの妨げになるような存在であってはなりません。物知り顔の先輩は時期を心得て登場し、短い言葉で適切なアドバイスなり解答を示唆し、決して出しゃばらず得意がらず、まして威張らず自慢せず、特に有難がられもせず邪魔にもされず、そんな人に私はなりたい…? どこかで耳にした台詞になってしまいました。

何はともあれ、新人を迎えた“ふらっと船橋”を宜しく願います。



## 障害福祉課長 新任のご挨拶

【船橋市 障害福祉課 課長 大山 泰光】

皆さん、こんにちは、4月から船橋市役所障害福祉課長となりました大山泰光と申します。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私は、昨年度、障害福祉課に課長補佐として異動してきました。また、その昔、障害福祉課でケースワーカーをしていました。

現在は当時と比べ、制度が大幅に変わっており、理解するのに苦労しました。

1年がたち、制度にもなれたところ政権交代による、『自立支援法』の廃止と『(仮称)障がい者総合福祉法』の制定が決まりました。また、それまでの間は自立支援法の改正で対応するとのことです。それを受けて、早々にこの4月から市県民税非課税世帯の障害福祉サービスの利用料が無料となりました。

また、今後、障害者権利条約の批准及びそれに伴い、多くの国内法も改正されることが見込まれます。インクルーシブ教育やより一層のバリアフリー化の促進等、障害福祉分野のみならず、教育分野や建設分野の大幅な制度改正の可能性も考えられます。

このように頻繁に制度改正がなされる中、船橋市では、今年度、以下の施策を行うこととしました。第1は、発達障害の専門的相談に対応することです。そのため、ふらっと船橋に臨床心理士の資格を持つ職員の増員を行いました。

第2は懸案事項であった北総育成園の改築の第一歩を踏み出すことができました。具体的には、施設の基本設計に着手する予定です。

第3は、福祉作業所太陽を法定施設に移行することです。その他、財政的に厳しいなか、積極的に事業の見直しを行い、必要とする事業に予算を振分けるように工夫をしております。

しかし、親亡き後の問題、地域移行やそれに伴う居住の問題等、より一層の支援を必要とする課題があることも認識しております。今後は、一歩一歩ではありますが、障害者の側に立って、これらの課題を解決することにより精一杯の努力をする所存です。

今後とも、障害福祉行政にご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 新任のご挨拶！

新田 千枝 (ニッタ チエ)

この4月から相談員として勤務させていただくことになりました。なんと実家が湊町(市役所の裏!!)という私には、とても慣れ親しんだ土地で勤務できることに大変な喜びを感じております。専門は臨床心理で、大学附属病院や大学心理相談室で研修を積むとともに、発達障害を持つ小学生を対象としたSSTや、児童擁護施設で虐待を受けた子供たちのセラピーのお手伝いなどをしてきました。昨年、臨床心理の資格を取得したばかりで、まだまだかけだしの私ですが、ベテランの皆様方のお力を借りながら成長させて頂きたいと思っております。地元：船橋の皆様のお役にたてるように日々努力して参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

正木 直美 (マサキ ナオミ)

はじめまして。4月より受付、庶務として勤務させていただいております。以前は医療機関で受付事務をしておりました。ともすれば、ネガティブに傾きがちな性格。新しくチャレンジすることも多々あり、不安もありますが、ここには素晴らしい相談員の方が揃っています。

いざという時は私も相談させていただこう。と勝手に決め、頑張っていきたいと思っております。本州の最西端出身で、船橋には15年前から縁あって住んでいます。第二の故郷と言っても過言ではありません。この15年の間に船橋の街も私も、外面、内面共に大きく様変わりしました。これからも変わり続けるでしょうが、より良い街になることを願い、私も万分の一役でもかきたいという思いでおります。どうぞ、宜しくお願い致します。

ふらっと船橋が・・・生活相談をお受けする中で、相談者の特性、地域性、家族性というものが暮らしの中で幾つかが絡み合い、慢性的な不安や不満を同じように抱えながら日々を送っています。ともすれば、このような悩みを絶えず抱えながら暮らしていく事が今の社会情勢からみる「地域生活像」なんだと再認識してしまいます。

新年度もこれまで以上に相談機関としての「質の向上」を目指してまいりますので、関係機関をはじめ皆様からのご指導宜しくお願い致します。 By 清水



2010 南ア W 杯 6 月!